

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	今回の外部評価で寄せられた家族アンケートの結果について、先ずホーム内で話し合い、改善策を講じて運営に活かすこと。	1. アンケートで(わからない)と回答された意見を少なくする為に、今まで以上に、ホームでの様子を、詳しく伝えられる様に努力する。 2. 改善して欲しい点については、1つ1つを前向きに対処する。	1. 毎月、御家族にお渡ししている、(ご様子)を今まで以上に、写真なども使い細かく伝える。 2. H22年4月13日の全体会議にて、家族アンケートの結果について、内容を確認しあった。次回(5月)の会議でその改善策について話し合い実施していく。	6ヶ月
2	33	終末期介護技術の職員研修等、諸々の条件が揃って介護サービスとしての見知りまでを行える様なチーム連携体制を整える。	終末介護を迎える方に対して十分な援助が出来るようにチーム連携体制を整える。	今年度の研修に終末期介護技術を盛り込む。また、御本人のケアだけでなく、御家族・医療機関との連携についても考えていく。	12ヶ月
3	35	年1回消防署立会いの避難訓練(夜間想定を含む)も実施することが望まれる。また、運営会議で地元の消防署に消防講習を開いてもらい、意見交換するなどして、協力体制を築いていくことを勧める。	緊急時に的確な通報・避難誘導が出来るように、定期的に避難訓練を実施する。ホーム内だけでなく、消防署立会いにて避難訓練を行い、指導を仰ぐ。また、他に協力体制が取れるように働きかける。	H22年4月14日(火)に消防署立会いにて避難訓練を実施する。消防署への通報・全員の避難誘導・消火訓練・夜間誘導時に気をつけることなどを、話し合う。今後も定期的に4月と10月に実施すると共に、運営推進会議でも、議題にあげ話し合っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。